

第3回検討部会 開催概要 (ワークショップの記録)

第3回検討部会 記録(グループA)

メンバー

株式会社鳥羽水族館 常務取締役 中村文哉 氏
鳥羽磯部漁業協同組合 管理部門統括兼総務指導課長 濱口輝満 氏
鳥羽市建設課 室長 ◎浜崎政孝 氏
鳥羽市企画財政課 木下大輔 氏

※◎は発表者

テーマ1/来訪者の行動パターンや駅周辺エリアでの過ごし方を考える

人物設定
鳥羽水族館の主要客層である ファミリー層(多世代含む)
集客核である鳥羽水族館のメイ ンターゲットであり宿泊や飲食・ お土産など消費額も高い重要な 利用者

〈シチュエーション1〉 素泊まりで過ごす夜

家族4人で**美味しいごはん**を食べたあと、**先にお風呂**を済ませる。せっかくの家族旅行なので、**花火、砂浜散歩、屋外シアター**などをしながら、**家族水入らずの夜の時間**を過ごす。子どもたちを寝かしつけたあとは、読書・食べ歩きなど**夫婦で好きな時間を過ごしたり**、次の日の作戦会議を行う。**鳥羽でしか食べられないようなおいしい朝食**を探す。
⇒**海と街どちらにも距離が近い宿泊施設**に宿泊して、近くの**公園・広場**で、家族みんなで楽しめる体験がしたい。

〈シチュエーション2〉 志摩に行くついでの立ち寄り

①スペイン村に向かう途中：子どもたちに、**鳥羽でしかできない体験**をさせてあげたい。海の近くを歩いたり、海の中に入ったり、船に乗ったり、動物と触れ合ったり……。鳥羽らしい**ランドマーク**があることで**立ち寄るきっかけ**になる。

※ 遊園地に向かう場合は朝から並びたいので、志摩に訪れた後に立ち寄るシチュエーションをグループで議論。

②志摩で過ごしたあと：**友達へのお土産**や**魚介類**を買いたい。大人は疲れているので**座って休みたい**が、子どもたちは体力があるので**まだまだ遊び足りない**。親の目が届く範囲で子供たちを遊ばせておく。

⇒観覧車などのランドマークがある**鳥羽らしい海の近くのサービスエリア**に立ち寄りしたい。

〈シチュエーション3〉 鳥羽駅について旅館にチェックインするまで

釣りや観光船など**海ならではのアクティビティ**がしたい。大阪からの**道中に購入した商品をさっそく開封したい**。大人は**移動で疲れた**ので、**海を見ながら休憩**して、**甘いものを食べたい**。

テーマ2/離島住民の駅周辺エリアでの過ごし方を考える

人物設定
定期船で市内と行き来する 離島住民(鳥羽市民) 「50歳・男性」
夫婦で離島に住む 本土へは週に2-3度訪れる 伊勢市内に娘夫婦が暮らしている

〈シチュエーション1〉 離島への帰路、定期船に乗るまでの時間

- ・市民価格の**安い飲食店**で一杯飲みたい・せんべろしたい。
- ・**サウナ**に入って休憩したい。
- ・ドラッグストアなど**日用品が購入できる場所**で**時間をつぶしたい**。

〈シチュエーション2〉 定期船の最終便を逃した一晚

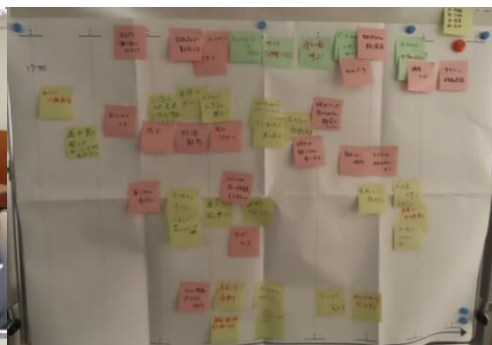
- ・**迎えの船を呼ぶ**か、**安く泊まれる**カプセルホテルや健康ランドで過ごしたい。

共通：一杯飲んだ後に移動するための手段(タクシーなど)が必要。
なるべく定期船乗り場に近い場所に、こういったサービス・機能がほしい。

全体を通して

家族旅行では、みんなの思い出に残るような家族全員で何か一つのことを体験したいので、それが鳥羽でしかできない体験であれば魅力的であるという意見でまとまった。年齢や趣味嗜好がバラバラであるため、複数の希望を叶える場所がひとつにまとまっていると便利という意見があった。

離島住民の場合は、観光地価格ではなく市民向けの安価な店がないと困るという意見が多かった。



第3回検討部会 記録(グループB)

メンバー 鳥羽市商工会議所1号議員 ◎谷口優太 氏
鳥羽市定期船課 課長補佐 西根さつき 氏
鳥羽市企画財政課 齋藤猛 氏
※◎は発表者

テーマ1／来訪者の行動パターンや駅周辺エリアでの過ごし方を考える

人物設定
神宮参拝のついで利用 シニア夫婦
鳥羽への期待度満足度の高い ロイヤルカスタマーであり 各スポットでの高単価消費が 見込める利用者

〈シチュエーション1〉鳥羽駅について旅館にチェックインするまで

着いたらすぐに甘味処に立ち寄ったりお風呂に入ったり、**良い風景をみながら小休止**をする。の後、公園でのんびり**散歩をしたり**、神社を巡りや鳥羽の**歴史に触れられるスポットに立ち寄**る。お土産コーナーで孫への**買い物や、日頃は必要ないものなどを購入し、無駄遣い**をする。

〈シチュエーション2〉素泊まりで過ごす夜

チェックインを済ませ、再び温泉でリフレッシュした後は、**地元の人が多く集まる居酒屋さんで会話を楽しみながら食事し**、何件か飲み回る。宿に戻ったら、夫はオンラインゲームしたりと、**各々好きなことをして過ごす**。

〈シチュエーション3〉志摩に行くついでの立ち寄り(早朝～チェックアウトするまで)

朝はまずレンタルしたちょっといい運動服を着て**風景の良いコースをランニング**(ウォーキング)し、ひと汗かいた後に非日感のある朝風呂を楽しむ。朝食は**食疲れから観光地っぽくない通の食事を楽しみ**、色んな宿の売店巡りをする。分かりやすい鳥羽名物を堪能する。

テーマ2／離島住民の駅周辺エリアでの過ごし方を考える

人物設定
定期船で市内と行き来する 離島住民(鳥羽市民) 「70歳・单身女性」
本土へは週3回、買い物や通院を 目的に通っている

〈シチュエーション1〉離島への帰路、定期船に乗るまでの時間

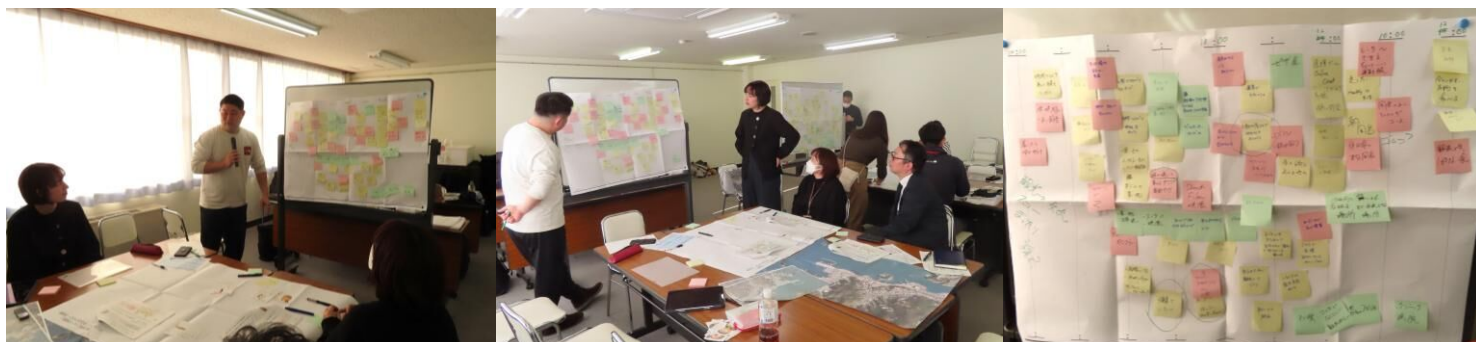
翌朝食べる用の魚の下処理をお店にお願いし、ドラッグストアに立ち寄ったり、化粧品など、**離島では手に入れにくい日用品の買い物**も済ませ、カフェで休憩する。**佐田浜にオープンした大手チェーンのピザ屋さんでピザをお持ち帰りし、乗船**。

〈シチュエーション2〉定期船の最終便を逃した一晚

マンガ喫茶のような、カプセルホテルのような**手頃な価格で泊まれる宿に宿泊し**、始発便まで、もしくは本土での早朝の予定に備えて**休息**。

全体を通して

シニア層にとっては旅行に訪れる目的は何かを見たり、体験したいといった観光への欲求よりも、地元の人や若者と話したいといった交流に対する欲求が高いではないかという結論に至った。また旅行のテーマとして、何をするかよりも誰と過ごすかが重視される傾向にあるのではないかという意見が挙がった。



第3回検討部会 記録(グループC)

メンバー 鳥羽市旅館組合連絡協議会 ◎吉川好信 氏
鳥羽市観光商工課 課長補佐 村山陽介 氏
鳥羽市温泉振興会 副会長 世古素大 氏
鳥羽市企画財政課 村田直 氏
※◎は発表者

テーマ1/来訪者の行動パターンや駅周辺エリアでの過ごし方を考える

人物設定
日帰り旅行利用や 素泊まり利用 若年層グループ
高い消費はないものの流行に敏感なオピニオンリーダーになりうる利用者

〈パターン1〉素泊まりで来た、アクティブ派の大学生女子

- 16:00 駅降りてすぐに見える海の景色をSNSにアップ。まずはアウトドアショップでロードバイクと釣りグッズを借りる。手ぶらでアクティビティが出来るのはありがたい。海辺の道をロードバイクを走らせて、釣り体験へ。「釣れた！」体験に感動して、またSNSに写真をアップ。
- 18:00 その場で釣った魚の下処理をしてくれるサービスがあるので、下処理をしてもらい、自分の魚で作った海鮮丼を食べた。春は足湯のある城山公園に桜を見に行きたい。
- 20:00 海辺を走らせてロードバイクを駅前に返したら、地元の居酒屋を発見してみんなで飲み会をする。
- 22:00 海の夜景を横目に飲み屋を梯子する。宿泊は駅近なので、居酒屋で串ものをテイクアウトしてコンビニに寄って宿泊先に戻る。

〈パターン2〉志摩のついでに来たインドア派大学生女子

- 16:00 移動で疲れたので、駅前の足湯でゆったりして一息。かもめにエサやりをしている様子をSNSにアップ。ちょっと寄るつもりだったのでノープラン。観光の作戦会議をするために、海の景色が綺麗なカフェでまったり。アクセサリー作り体験が出来る雑貨屋さんがありそうなので行ってみよう。
- 17:00 カモメの散歩道を散歩がてら、手作り体験が出来る雑貨屋さんへ。道すがら、海らしい雑貨屋お土産屋さんをウィンドーショッピング。
- 18:00 ともだちとお揃いのアクセサリー作りを体験したら日没。海と夜景が魅力的なおしゃれなバーでゆっくり。ここでもSNSに写真をアップ。

テーマ2/離島住民の駅周辺エリアでの過ごし方を考える

人物設定
定期船で市内と行き来する 離島住民(鳥羽市民) 「10代学生」
本土に通学・定期船を毎日利用

- 16:00 学校が終わってから、塾の授業までの間にマリントーミナルで宿題をするのが日課。海辺のおしゃれカフェは地元の若者に人気で、友達と勉強したり、塾の前ちょっと軽食を食べたりできる。おしゃれなバイト先の存在は大事。このカフェでバイトするのは地元の学生のちょっとした憧れ。近くに図書館やコンビニなどもあり、学生のたまり場に適した安全な場所として保護者も安心して放課後を過ごさせている学童のような存在。学生が多いカフェは人気のデートスポットでもある。
- 19:00 バイト終わり、友達たちと定期船が来るまでマリントーミナルでダラダラ過ごす。
- 20:00 定期船の最終便が悪天候で欠航。いつもは本土の親戚の家に宿泊するが、安価で一晩泊まれる場所があるので安心。

全体を通して

若年層は安価に楽しめる場所を探し、鳥羽ならではの食や景色や自分で何かを作るような「体験」を重視するだろうという結論に至った。加えて、駅と海が近接した恵まれた位置関係であるにも関わらず、波などの海の印象を駅すぐ感じられないことや、それを生かした魅力的な空間になっていないことは課題との指摘があった。若い住民にとって、鳥羽らしさの中で友人と過ごす何気ない憩いの時間の大切さが将来的な大切な記憶となるのではないかという意見が挙がった。

